ジェネリック医薬品

代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤
劇薬、処方箋医薬品　注意－医師等の処方箋により使用すること

ゲムシタビン点滴静注用200mg「SUN」
ゲムシタビン点滴静注用1g「SUN」

Gemcitabine I.V.infusion 200mg・1g「SUN」

点滴静注用ゲムシタビン塩酸塩

配合変化表

配合変化情報についての注意

◆本配合変化データは、弊社において実施した注射剤配合の一例であり、各現場における再現性を保証するものではありません。現場での参考情報としてご活用ください。

◆本配合変化データは、実際に配合した際の有効性・安全性・品質の保証および使用を推奨するものではありません。

サンファーマ株式会社

目　　次

Ⅰ. ゲムシタビン点滴静注用「SUN」の pH 変動試験
1. 試験方法
1）変化点 pH 及び最終 pH …… 1
2）希釈試験 …… 1
2. 結果 …… 1

Ⅱ. ゲムシタビン点滴静注用「SUN」配合変化試験
1. 配合方法
1）各種輸液との配合 …… 2
2）各種注射剤との配合 …… 2
2. 結果 …… 4
表 4　各種輸液との配合変化試験結果 …… 5
表 5　各種注射剤との配合変化試験結果 …… 7

Ⅰ．ゲムシタビン点滴静注用「SUN」の pH 変動試験

1. 試験方法

1）変化点 pH 及び最終 pH

ゲムシタビン点滴静注用 1g「SUN」に生理食塩液 25mL を加えて試料溶液とする。試料溶液 10mL を量り、pH 測定後、0.1mol/L 塩酸溶液あるいは 0.1mol/L 水酸化ナトリウム溶液を滴下し、外観変化が認められるまで加え、変化点の pH 及びその時の滴下量を測定する。外観変化のない場合は、試液の 10mL 滴下時の pH（最終 pH）を測定する。

2）希釈試験

外観変化の認められるものについては、変化点 pH において、さらに 20mL または 500mL の蒸留水を加えてよく攪拌し、希釈した時間を 0 時間とし、室温放置 30 分、1 時間、3 時間後の外観変化の観察及び pH を測定する。

2. 結　果

変化点 pH 又は最終 pH ならびに外観を表 1 に示した。外観変化は認められなかったため、希釈試験は実施しなかった。

表 1　ゲムシタビン点滴静注用 1g「SUN」の pH 変動試験

滴　下　前		浸透圧比	滴　下　後					
pH	外　観		滴下量（mL）		変化点 pH 又は最終 pH		移動指数	外　観
3.05	無色澄明の液であった	2.84	0.1mol/L/塩酸溶液	10	最終 pH	1.48	1.57	無色澄明の液であった
3.05	無色澄明の液であった	2.84	0.1mol/L/水酸化ナトリウム溶液	10	最終 pH	4.54	1.49	無色澄明の液であった

Ⅱ．ゲムシタビン点滴静注用「SUN」配合変化試験

1. 配合方法

ゲムシタビン点滴静注用 1g「SUN」を各種薬剤と下記により混合した。

1）各種輸液との配合

ゲムシタビン点滴静注用 1g「SUN」に日局生理食塩液を加え、ゲムシタビンとして 10mg/mL あるいは 40mg/mL 生理食塩液溶液を調製した。10mg/mL 生理食塩液溶液 150mL あるいは 40mg/mL 生理食塩液溶液 45mL を表 2 に示した容量の各輸液 1 ボトルまたは 1 バック容量と混合した。

配合液は無色の共栓付三角フラスコに入れ、電灯で 24 時間曝光した室内散光下（温度・照度：成り行き）で保存した。

2）各種注射剤との配合

ゲムシタビン点滴静注用 1g「SUN」に日局生理食塩液を加え、40mg/mL 生理食塩液溶液を調製した。40mg/mL 生理食塩液溶液 45mL を表 3 に示した容量の注射液に混合した。

配合液は無色の共栓付三角フラスコに入れ、電灯で 24 時間曝光した室内散光下（温度・照度：成り行き）で保存した。

表 2　ゲムシタビン点滴静注用 1g「SUN」と配合した輸液量

種　　類	配　合　輸　液	配　合　量	最終容量（mL）
血液代用剤	大塚生食注	500mL	650[1)]
	リンゲル液「フソー」	500mL	650[1)]
	KN3 号輸液	500mL	650[1)]
	EL-3 号輸液	500mL	650[1)]
	ソリタ-T3 号輸液	500mL	650[1)]
	フィジオゾール 3 号輸液	500mL	650[1)]
	フルクトラクト注	500mL	650[1)]
	ラクテック注	500mL	650[1)]
	低分子デキストラン糖注	500mL	650[1)]
糖　類　剤	大塚糖液 5%	500mL	650[1)]
	大塚糖液 10%	500mL	650[1)]
	光糖液 20%	500mL	650[1)]
	大塚糖液 50%	500mL	650[1)]
	キリット注 5%	500mL	650[1)]
	20%フルクトン注	20mL	170[1)]
たん白アミノ酸製剤	モリアミン S 注	200mL	350[1)]
	ピーエヌツイン-2 号輸液	1100mL×2	2245[2)]
	ユニカリック L 輸液[3)]	1000mL×2	2045[2)]

1) ゲムシタビン 10mg/mL 生理食塩液溶液を調製し 150mL（1.5g 相当量）を添加した。
2) ゲムシタビン 40mg/mL 生理食塩液溶液を調製し 45mL（1.8g 相当量）を添加した。
3) ユニカリック L 輸液：2016 年 3 月 31 日に販売中止

表３　配合変化試験に用いた注射剤の規格と配合量

	配合注射剤	用量	配合量(mL)	最終容量(mL)	調製方法
催眠鎮静剤・抗うつ剤	セルシン注射液10mg「タケダ」	10mg/2mL(1管)	2	47	
精神神経用剤	セレネース注5mg	5mg/1mL(1アンプル)	1	46	
	ノバミン筋注5mg	5mg/1mL(1管)	1	46	
消化性潰瘍用剤	ドグマチール筋注50mg	50mg/2mL(1管)	8	53	
	タガメット注射液200mg	200mg/2mL(1アンプル)	2	47	
消化器官用剤	プリンペラン注射液10mg	10mg/2mL(1管)	2	47	
	ゾフラン注4[1)]	4mg/2mL(1アンプル)	2	47	
	カイトリル注3mg	3mg/3mL(1アンプル)	2.8	47.8	
	アロキシ静注 0.75mg	0.75mg/5mL(1 バイアル)	5	50	
副腎ホルモン剤	デカドロン注射液6.6mg	6.6mg/2mL(1バイアル)	5	50	
	水溶性プレドニン50mg	50mg/1管	10	55	1管を日局生理食塩液5mLに溶解
総合ビタミン剤	オーツカMV注	1号：1瓶、2号：4mL(1管)	1組	49	
アルキル化剤	注射用エンドキサン500mg	500mg/1バイアル	25	70	100mgあたり5mLの生理食塩液に溶解
	注射用イホマイド1g	1g/1瓶	135	180	1瓶を生理食塩液25mLに溶解
代謝拮抗剤	5-FU注250mg	250mg/5mL(1管)	14	59	
	注射用メソトレキセート50mg	50mg/1バイアル	12	57	1バイアルを日局生理食塩液20mLに溶解
抗腫瘍性抗生物質製剤	マイトマイシン注用10mg	10mg(力価)/1瓶	15	60	1瓶を注射用水25mLに溶解
	アドリアシン注用10	10mg(力価)/1瓶	7.2	52.2	1便を生理食塩液1mLに溶解
抗腫瘍性植物成分製剤	タキソテール点滴静注用80mg	80mg/2mL(1バイアル)	10.8	55.8	1バイアルを添付溶解液6mLに溶解
	カンプト点滴静注100mg	100mg/5mL(1バイアル)	13.5	58.5	
	イリノテカン塩酸塩点滴静注液100mg「SUN」	100mg/5mL(1バイアル)	13.5	58.5	
	注射用フィルデシン3mg	3mg/1瓶	4.5	49.5	1mg/mLの割合で生理食塩液に溶解
	エクザール注射用10mg	10mg/1バイアル	21	66	1mg/mLの割合で生理食塩液に溶解
	オンコビン注射用1mg	1mg/1バイアル	20	65	1バイアルを生理食塩液10mLに溶解
	ラステット注100mg/5mL	100mg/5mL(1バイアル)	13.5	58.5	
その他の腫瘍用剤	プリプラチン注50mg[2)]	50mg/100mL(1バイアル)	324	369	
	パラプラチン注射液450mg	450mg/45mL(1バイアル)	72	117	
抗真菌剤	ファンギゾン注射用50mg	50mg(力価)/1バイアル	7	52	1バイアルを日局注射用水10mLに溶解
	ジフルカン静注液200mg	200mg/100mL(1バイアル)	100	145	
	フロリードF注200mg	200mg/20mL(1管)	40	85	
抗ウイルス剤	ゾビラックス点滴静注用250	250mg/1バイアル	14	59	1バイアルを日局生理食塩液10mLに溶解
	デノシン点滴静注用500mg	500mg/1瓶	7	52	1バイアルを日局注射用水10mLに溶解
	アラセナ-A点滴静注用300mg	300mg/1バイアル	1750	1795	1バイアルを日局生理食塩液500mLに溶解

ゲムシタビン 40mg/mL 生理食塩液溶液を調整し 45mL(1.8g 相当量)を混和した。

1) ゾフラン注 4：2019 年 3 月 31 日に販売中止

2) プリチラン注 50mg：2019 年 3 月 31 日に販売中止

2. 結　　果

外観変化（混濁、沈殿及び著明な色調変化）、pH 変動あるいはゲムシタビン残存率の低下が見られた薬剤は、以下の表に示した輸液 1 剤、注射剤 7 剤であった。各種輸液との配合変化試験結果を表 4、各種注射剤との配合変化試験結果を表 5 に示した。なお、外観変化、pH 変動あるいはゲムシタビン残存率の低下が見られた結果は、結果表中の該当箇所に網掛けを施した。

配合輸液あるいは注射剤		時　期	結　　果
輸　液	ユニカリック L 輸液 [1)]	24 時間後	残存率の低下（94.3%）
注射剤	水溶性プレドニン 50mg	配合直後	白色の沈殿（結晶の析出）
	5-FU 注 250mg	配合直後	白色の沈殿（結晶の析出）
	注射用メソトレキセート 50mg	24 時間後	黄色の沈殿
	注射用イホマイド 1g	24 時間後	pH 変動
	ファンギゾン注射液 50mg	配合直後	濁りを生じた
	ゾビラックス点滴静注用 250	配合直後	白色の沈殿
	デノシン点滴静注用 500mg	配合直後	白色の沈殿

1）ユニカリック L 輸液：2016 年 3 月 31 日に販売中止

表 4　各種輸液との配合変化試験結果

	配　合　輸　液	販売会社	測定ポイント	0 時間	1 時間後	2 時間後	3 時間後	6 時間後	24 時間後
血液代用剤	大塚生食注 [1)]	大塚製薬	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.27	3.27	3.27	3.27	3.27	3.25
			残存率(%)	100.0	99.3	100.0	99.5	99.8	100.2
	リンゲル液「フソー」[1)]	扶桑薬品工業	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.28	3.26	3.27	3.26	3.26	3.25
			残存率(%)	100.0	100.1	100.6	100.4	100.8	100.9
	KN3 号輸液 [1)]	大塚製薬	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	4.07	4.1	4.1	4.1	4.09	4.1
			残存率(%)	100.0	100.2	100.5	100.2	100.0	100.0
	EL−3 号輸液 [1)]	陽進堂	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	4.37	4.38	4.39	4.39	4.39	4.39
			残存率(%)	100.0	100.0	100.0	100.1	99.9	100.0
	ソリタ−T3 号輸液 [1)]	陽進堂	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	4.06	4.07	4.07	4.08	4.08	4.05
			残存率(%)	100.0	100.1	99.7	100.0	99.7	99.8
	フィジオゾール 3 号輸液 [1)]	大塚製薬	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.98	3.98	3.98	3.99	3.99	3.97
			残存率(%)	100.0	100.6	101.1	100.7	102.1	100.6
	フルクトラクト注 [1)]	大塚製薬	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	4.04	4.02	4.01	4.01	4	4.05
			残存率(%)	100.0	99.3	99.1	99.2	99	99
	ラクテック注 [1)]	大塚製薬	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	4.2	4.19	4.18	4.18	4.17	4.23
			残存率(%)	100.0	100.1	99.9	100.0	99.8	100.5
	低分子デキストラン糖注 [1)]	大塚製薬	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.21	3.21	3.22	3.22	3.22	3.21
			残存率(%)	100.0	100.1	100.0	99.6	100.0	100.7
糖類剤	大塚糖液 5%[1)]	大塚製薬	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.22	3.23	3.22	3.22	3.23	3.22
			残存率(%)	100.0	99.6	99.2	99.6	99.2	99.7
	大塚糖液 10%[1)]	大塚製薬	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.2	3.22	3.21	3.21	3.21	3.21
			残存率(%)	100.0	99.9	99.9	99.6	99.9	100.0
	光糖液 20%[1)]	光製薬	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.16	3.15	3.16	3.17	3.16	3.16
			残存率(%)	100.0	99.6	99.5	99.7	99.5	99.1
	大塚糖液 50%[1)]	大塚製薬	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.02	3.04	3.03	3.03	3.05	3.05
			残存率(%)	100.0	100.2	100.4	99.7	99.8	99.3
	キリット注 5%[1)]	大塚製薬	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.27	3.26	3.25	3.25	3.25	3.26
			残存率(%)	100.0	99.6	99.4	99.2	99.2	99.8
	20%フルクトン注 [1)]	大塚製薬	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.14	3.14	3.17	3.15	3.16	3.14
			残存率(%)	100.0	100.3	101.4	99.9	99.7	100.4

1) ゲムシタビン 10mg/mL 生理食塩液溶液を調製し、150mL（1.5g 相当量）を添加する。

表 4　各種輸液との配合変化試験結果（つづき）

	配　合　輸　液	販売会社	測定ポイント	0 時間	1 時間後	2 時間後	3 時間後	6 時間後	24 時間後
たん白アミノ酸製剤	モリアミンＳ注 1)	陽　進　堂	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	4.26	4.28	4.28	4.29	4.29	4.27
			残存率(%)	100.0	96.8	96.8	96.7	96.3	96.4
	ピーエヌツイン-2 号輸液 2)	陽　進　堂	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	5	5.03	5.02	5	5	4.96
			残存率(%)	100.0	99.9	99.3	99.4	99.6	99.4
	ユニカリックＬ輸液 2) 3)	田辺三菱製薬	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	4.18	4.17	4.18	4.19	4.19	4.2
			残存率(%)	100.0	97.2	97	96.5	95.6	94.3

1) ゲムシタビン 10mg/mL 生理食塩液溶液を調製し、150mL（1.5g 相当量）を添加する。
2) ゲムシタビン 40mg/mL 生理食塩液溶液を調製し、45mL（1.8g 相当量）を添加する。
3) ユニカリックＬ輸液：2016 年 3 月 31 日に販売中止
※販売会社は 2021 年 1 月時点のものです。

表 5　各種注射剤との配合変化試験結果

薬効分類	配合注射剤	販売会社	測定ポイント	0 時間	1 時間後	2 時間後	3 時間後	6 時間後	24 時間後
催眠鎮静剤・抗うつ剤 112	セルシン注射液 10mg「タケダ」	武田薬品工業	外　観	微黄色澄明*	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明
			pH	3.25	3.25	3.24	3.26	3.25	3.26
			残存率(%)	100.0	100.1	99.9	100.2	99.7	100.2
精神神経用剤 117	セレネース注 5mg	大日本住友製薬	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.07	3.05	3.04	3.05	3.04	3.05
			残存率(%)	100.0	99.9	99.9	99.9	99.3	99.7
	ノバミン筋注 5mg 注)	共和薬品工業	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.06	3.05	3.05	3.03	3.05	3.05
			残存率(%)	100.0	101	99.4	99.5	99.3	100.0
消化性潰瘍用剤 232	ドグマチール筋注 50mg 注)	日医工	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.08	3.06	3.03	3.05	3.05	3.05
			残存率(%)	100.0	100.6	100.3	100.1	100.5	100.5
	タガメット注射液 200mg	大日本住友製薬	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.05	3.04	3.04	3.04	3.05	3.05
			残存率(%)	100.0	99	99	99.1	98.5	98.8
消化器官用剤 239	プリンペラン注射液 10mg	日医工	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.07	3.04	3.05	3.05	3.06	3.04
			残存率(%)	100.0	100.0	99.7	100.2	100.0	100.2
	ゾフラン注 4[1]	グラクソ・スミスクライン	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.03	3.05	3.04	3.04	3.05	3.06
			残存率(%)	100.0	99.6	99.8	99.7	100.1	100.3
	カイトリル注 3mg	太陽ファルマ	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.07	3.07	3.04	3.06	3.05	3.08
			残存率(%)	100.0	100.2	98.2	100.4	100.0	100.7
	アロキシ静注 0.75mg	大鵬薬品工業	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.09	3.11	3.09	3.09	3.09	3.09
			残存率(%)	100.0	100.4	100.7	100.4	100.4	100.1
			残存率(%)(ﾊﾟﾛﾉｾﾄﾛﾝ)	100.0	100.0	99.9	100.0	100.0	99.7
副腎ホルモン剤 245	デカドロン注射液 6.6mg	アスペンジャパン	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.32	3.29	3.28	3.32	3.33	3.31
			残存率(%)	100.0	99.4	99.1	99.6	99.8	97.6
	水溶性プレドニン 50mg	塩野義製薬	外　観	白色の沈殿	白色の沈殿	白色の沈殿	白色の沈殿	白色の沈殿	結晶の析出
			pH	3.23	3.22	3.2	3.19	3.2	3.22
			残存率(%)	―	―	―	―	―	―
混合ビタミン剤 317	オーツカ MV 注	大塚製薬	外　観	黄色澄明*	黄色澄明	黄色澄明	黄色澄明	黄色澄明	黄色澄明
			pH	3.28	3.32	3.32	3.3	3.3	3.26
			残存率(%)	100.0	98.5	98.4	98.7	97.5	97.8
アルキル化剤 421	* 注射用エンドキサン 500mg	塩野義製薬	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.05	3.07	3.07	3.08	3.08	3.04
			残存率(%)	100.0	99.7	97.8	99.8	99.4	100.3
	* 注射用イホマイド 1g	塩野義製薬	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.1	3.14	3.15	3.15	3.18	3.39
			残存率(%)	100.0	99.7	99.8	99.7	99.4	100.4

ゲムシタビン 40mg/mL 生理食塩液溶液を調製し、45mL（1.8g 相当量）を添加する。
1）ゾフラン注 4：2019 年 3 月 31 日に販売中止

注）用法・用量外使用
*併用注意（併用に注意すること）

表 5　各種注射剤との配合変化試験結果（つづき）

薬効分類	配合注射剤	販売会社	測定ポイント	0 時間	1 時間後	2 時間後	3 時間後	6 時間後	24 時間後
代謝拮抗剤 422	* 5-FU 注 250mg	協和キリン	外　観	白色の沈殿	結晶の析出	結晶の析出	結晶の析出	結晶の析出	結晶の析出
			pH	7.56	7.58	7.63	7.61	7.63	7.61
			残存率(%)	―	―	―	―	―	―
	* 注射用メソトレキセート 50mg	ファイザー	外　観	黄色澄明*	黄色澄明	黄色澄明	黄色澄明	黄色澄明	黄色の沈殿
			pH	3.15	3.13	3.14	3.15	3.16	3.13
			残存率(%)	100.0	99.9	99.7	100.1	99.2	―
抗腫瘍性抗生物質製剤 423	* マイトマイシン注用 10mg	協和キリン	外　観	赤紫色澄明	赤紫色澄明	赤紫色澄明	赤紫色澄明	赤紫色澄明	赤紫色澄明
			pH	3.05	3.06	3.09	3.07	3.09	3.08
			残存率(%)	100.0	98.3	98	98	97.6	98.5
	* アドリアシン注用 10	アスペンジャパン	外　観	赤橙色澄明	赤橙色澄明	赤橙色澄明	赤橙色澄明	赤橙色澄明	赤橙色澄明
			pH	3.05	3.07	3.05	3.05	3.04	3.05
			残存率(%)	100.0	99.9	99.7	100.1	99.6	100.1
抗腫瘍性植物成分製剤 424	* タキソテール点滴静注用 80mg	サノフィ	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3	3	3	3.01	3	2.99
			残存率(%)	100.0	99.4	99.9	100.1	100.3	100.2
	* カンプト点滴静注 100mg	ヤクルト本社	外　観	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明
			pH	3.06	3.04	3.03	3.05	3.04	3.06
			残存率(%)	100.0	99.9	100.1	99.9	100.2	99.8
	* イリノテカン塩酸塩点滴静注液 100mg「SUN」	サンファーマ	外　観	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明
			pH	3.03	3.05	3.04	3.04	3.05	3.06
			残存率(%)	100.0	99.9	99.7	99.9	99.6	100.3
			残存率(%)（ｲﾘﾉﾃｶﾝ）	100.0	100.3	101	99.9	100.2	99.6
	* 注射用フィルデシン 3mg	日医工	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.06	3.03	3.04	3.05	3.07	3.04
			残存率(%)	100.0	99.7	99.5	99.3	99.4	99.9
	* エクザール注射用 10mg	日本化薬	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.1	3.06	3.06	3.06	3.08	3.09
			残存率(%)	100.0	99.5	99.8	99.8	99.2	100.1
	* オンコビン注射用 1mg	日本化薬	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.07	3.08	3.07	3.06	3.06	3.1
			残存率(%)	100.0	100.5	100.4	100.7	100.2	100.8
	* ラステット注 100mg/5mL	日本化薬	外　観	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明
			pH	2.91	2.91	2.93	2.93	2.93	2.9
			残存率(%)	100.0	99.8	99.5	99.8	99.7	100.3
その他の腫瘍用剤 429	* ブリプラチン注 50mg[2)]	ブリストル・マイヤーズ	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	2.88	2.89	2.9	2.88	2.9	2.91
			残存率(%)	100.0	99.8	100.0	99.9	99.9	99.9
	* パラプラチン注射液 450mg	ブリストル・マイヤーズ	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.11	3.13	3.11	3.12	3.15	3.19
			残存率(%)	100.0	100.1	100.1	99.7	100.1	99.7

ゲムシタビン 40mg/mL 生理食塩液溶液を調製し、45mL（1.8g 相当量）を添加する。
2) プリプラチン注 50mg：2019 年 3 月 31 日に販売中止

*併用注意（併用に注意すること）

表 5　各種注射剤との配合変化試験結果（つづき）

薬効分類	配合注射剤	販売会社	測定ポイント	0 時間	1 時間後	2 時間後	3 時間後	6 時間後	24 時間後
抗真菌剤 617	ファンギゾン注射用 50mg	クリニジェン	外　観	黄色の液*で濁り	黄色の液で濁り	黄色の液で濁り	黄色の液で濁り	黄色の液で濁り	黄色の液で濁り
			pH	3.15	3.13	3.12	3.1	3.12	3.12
			残存率(%)	―	―	―	―	―	―
	ジフルカン静注液 200mg	ファイザー	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.15	3.14	3.12	3.13	3.13	3.13
			残存率(%)	100.0	99.6	100.0	99.5	99.9	100.0
	フロリード F 注 200mg	持田製薬	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.29	3.28	3.28	3.3	3.29	3.28
			残存率(%)	100.0	99.8	99.7	99.2	99	99.5
抗ウイルス剤 625	ゾビラックス点滴静注用 250	グラクソ・スミスクライン	外　観	白色の沈殿	白色の沈殿	白色の沈殿	白色の沈殿	白色の沈殿	白色の沈殿
			pH	3.49	3.55	3.54	3.53	3.56	3.53
			残存率(%)	―	―	―	―	―	―
	デノシン点滴静注用 500mg	田辺三菱製薬	外　観	白色の沈殿	白色の沈殿	白色の沈殿	白色の沈殿	白色の沈殿	白色の沈殿
			pH	3.45	3.47	3.47	3.47	3.47	3.48
			残存率(%)	―	―	―	―	―	―
	アラセナ−A 点滴静注用 300mg	持田製薬	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
			pH	3.37	3.36	3.36	3.37	3.35	3.36
			残存率(%)	100.0	99.7	99.5	99.5	99.4	99.6

ゲムシタビン 40mg/mL 生理食塩液溶液を調製し、45mL（1.8g 相当量）を添加する。

※販売会社は 2021 年 1 月時点のものです。

	測定ポイント	0 時間	1 時間後	2 時間後	3 時間後	6 時間後	24 時間後
Ⅰ液：カイトリル注 3mg（3mg）＋デカドロン注射液 6.6mg（6.6mg）＋生理食塩液（100mL） Ⅱ液：ゲムシタビン点滴静注用 1g「SUN」（1.8g）＋生理食塩液（100mL） Ⅰ液にⅡ液を加える	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
	pH	3.25	3.24	3.24	3.26	3.24	3.29
	残存率(%)	100.0	100.4	100.5	100.1	100.2	99.9
Ⅰ液：アロキシ静注 0.75mg（0.75mg）＋デカドロン注射液 6.6mg（6.6mg）＋生理食塩液（100mL） Ⅱ液：ゲムシタビン点滴静注用 1g「SUN」（1.8g）＋生理食塩液（100mL） Ⅰ液にⅡ液を加える	外　観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
	pH	3.3	3.29	3.29	3.3	3.29	3.26
	残存率(%)	100.0	100.4	100.2	100.2	99.7	99.7
	残存率（%）（パロノセトロン）	100.0	99.8	99.7	99.8	99.8	99.1

製造販売元（文献請求先）
サンファーマ株式会社
東京都港区芝公園1－7－6

お問い合わせ先
くすり相談センター
TEL: 0120-22-6880

GEM031D14
2021年4月作成